

【日程】 7:40 会場設営

8:30 監督会議（裏で一手練習）

9:50 開会式（練習が終わり次第開始式を行う。）

10:00 競技開始（女→男→女→男）制限時間6分30秒_1立7分

※1立目終了後・昼食休憩

2立目

終了後 団体・個人順位決定

14:00 表彰式・閉会式

＜開会式次第＞ 進行＝（小池）

1. 開式の言葉（安達）
2. 一礼（会長）
3. 会長挨拶（会長）
4. 優勝杯返還（会長・梶原）
5. 競技上の注意（梶原）
6. 閉式の言葉（安達）

＜閉会式次第＞ 進行＝（小池）

1. 開式の言葉（安達）
2. 成績発表・表彰（会長・梶原）
3. 一礼（会長）
4. 閉式の言葉（安達）
- ※ 諸連絡（梶原）

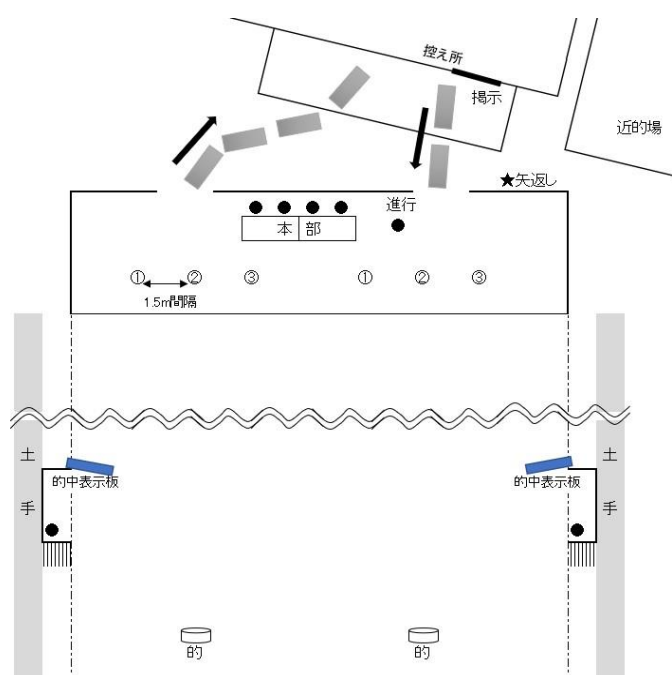
男子団体：杵築 女子団体：大分南

男子個人：宇佐 池邊 航至 6中 女子個人：別府鶴見丘 手塚 和凜 5中

優勝杯を持参してください。

【補助員】大分南 大分雄城台

【会場準備について】



会場設営

・左の図のように設営します。

・当日朝の会場準備（鍵の受取、的台設置、すのこの準備）は補助員校を中心に協力をお願いします。

射場：長机2台、椅子4脚、進行用椅子1脚

※第一控えには椅子を置かない。

的場：椅子2脚、的一式、的中表示板

会場片づけ

的の片付け・・・大分舞鶴、大分南

遠的射場と周辺・・・大分雄城台

近的射場・・・大分西

安土裏控え所・・・大分東明

矢取りについて

- ・補助員が矢取をしますが、「矢拭き」までは行いません。矢の汚れは各校で落としてください。

応援について

応援時の発声は許可しています。応援時のマナーとして、原則として第一射場は前より第二射場は後より応援するようにしてください。（保護者の応援は観覧席が狭いため、選手が競技出場するとき以外は禁止とします。）

控え場所について

- ・遠的場前の選手控え所と近的場をかりています。場所の割り当ては下記の通りです。

遠的場前控え所：大分＋補助員（５校）

近的射場：久大・別杵・県北（５校）

近的控え：県南・豊肥（３校）

【競技についての確認事項】

- ・団体戦３名（補欠１名）のエントリーで団体としています
- ・個人戦申込時に３名に満たない場合は個人戦のみの出場としています
- ・競技的中数の合計で順位を決定します（得点表示板には参考として点数を表示します）
- ・的的中的枠に段差がない場合外周の黒い線に触れていれば中りとしています。
- ・表彰は団体戦・個人戦ともに３位までです。

【運営についての確認事項】

行射終了時・・・進行は「的中確認お願いします。」とインカムで合図する。

的中を確認するだけで、矢は次の合図があるまで抜かない。

記録終了時・・・進行は記録からの合図で「矢取りお願いします。」とインカムで合図する。

矢取りの合図で矢を抜く。

○進行係は「一步前へ」の声掛けはしません。射位が空いたら、第一控から本座に着くように各校で指導をお願いいたします。

○呼出については、呼び出されずとも招集に間に合うように集合するのがマナーです。各校でご指導をよろしくお願いいたします。

【選手についての確認事項】

- ・欠席者（選手変更）１立目の変更は監督会議前に受付。競技開始後の交代は変更届にて受付

【係分担】

10	11	12	13	14	15

進行…宇佐（１）、杵築（１）、大分西（１）

呼出…日田（３）、佐伯豊南（１）

的前１…大分南（２）、別府鶴見丘（１）、東明（１）

的前２…大分舞鶴（２）、大分雄城台（１）、佐伯鶴城（１）

本部…国東（２）、竹田（２）

補助員……大分雄城台　大分南

参加者数・参加顧問数 13 校 顧問 20 人 選手 93 人

学校名	女子	男子	合計	顧問
杵築	1	1	8	津崎誠
別府鶴見丘	1	1	8	都甲洋平
日田	1	1	8	秦ひとみ 小池佑輔 永松寛明
竹田	1	1	8	安達笑子 山崎理男
大分舞鶴	1	1	8	奈須俊樹 栗屋真琴
大分南	1	1	8	蔵原哲也 深水彰三
大分東明		1	4	高橋幸二郎
佐伯豊南	1		3	久保田信輔
佐伯鶴城	1	1	8	中村弦詩
国東	1	1	8	梶原寛章 友永一夫
宇佐	1	1	6	市口博義
大分雄城台	1	1	8	佐藤響
大分西	1	1	8	小野崇 河野康介

【係業務】

呼出・点検：本座手前が第 1 控、射場外に第 2 控（椅子なし）

第 2 控が寒いことが想定されるので、招集・弓具点検が終わったら 2 射場側より入場し、射場内隅に待機、前の立の遅いチームの 4 本目を引き始めるころ第 1 控につかせる。
入退場での選手の接触が少なくなるよう、タイミングは臨機応変にお願いします。

進 行：射場審判を兼ねる。「始め」の合図と的中確認・矢取の号令をかける。

- ・射場中央に待機し、「始め」の号令をかける。
- ・行射終了時に的前審判へ「的中確認お願いします。」とインカムで伝える。
- ・的前の表示と本部記録に不一致がなければ本部記録より合図があるので「矢取りお願いします。」とインカムで的前審判に伝える。
- ・矢を抜き終わる頃「始め」の号令をかける
- ・弦切れや筈こぼれ等失をした場合、的前に「〇〇射場〇番失」と伝える。
弓を介添えに渡し、弦を張らせ、落とした矢を拾うなど補助をする。

的前審判：遠的競技は的前審判の判断がすべてです。異議申し立てはありません。

- ・行射中、矢所の確認をする。外れた矢も見失わない様に矢所を確認しておく。
- ・進行係の「的中確認お願いします。」の合図で的中本数を確認する。
- ・補助員に的中表示（黄 10 点、赤 9 点、青 7 点、黒 5 点、白 3 点、外れ 0 点）をさせる。的枠ギリギリの矢所のみ？を使用。その他は高い方の点数を表示する。
- ・赤旗は的場の中央にだす。
- ・進行（射場審判）から「矢取りお願いします」の合図を受けたら矢を抜かせる。

※的前での記録は行わない。

本 部：記録も行う。計時係は5分で予鈴、5分半で本鈴を鳴らす。

・本部的中記録（P C &紙）と速報掲示する。

①記録担当者が紙に的中を記録

②行射後、入力担当者が表示を読上げ、記録担当者が紙の記録を見る

③入力担当者が入力

<準備物>持ち込み機材 パソコン プリンター 接続用ケーブル 延長コード（事務局）

賞状 男女3位までの団体・個人各6枚（学校部会理事：県弓道連盟より貰う）プログラム 顧問数+各校2部印刷 $26+26=52$ （最低数）記録用紙 的中記録用紙（プログラム）、本部記録用紙、交代届、監督会議資料 赤旗 1本（近的会場のものを使用）

文房具 ラッションペン（赤・黒） ボールペン 3本 鉛筆 3本 セロテープ ガムテープ